

開催コース/筑波サーキット (茨城県)
 主催/日本スーパーカート協会
 開催日/8月7日
 天候/晴れ 路面状況/ドライ
 Report&Photo /月刊 JAPAN KART



ジャパンカートカップ第4戦は筑波サーキットに舞台を戻してのレースとなる。折しも猛烈な台風10号が接近中だったため、雨の心配がされていたのだが、午前中に降った雨もやみ、路面はほぼドライコンディションに回復してくれたようだ。

今回、総合トップをゲットしたのは現役女子高生ドライバーの佐藤那未。途中まで橋本隼にトップを許していたが、レース終盤に逆転に成功、1分3秒047というファステストもマークするという文句なしの内容での勝利だった。「天気が微妙で心配したけどスリックタイヤで走れて良かったです。マシンは直前にドライセットに直し、バタバタしてしまいましたが、途中で順位が1位になったので、このまま自分なりのタイムを出せば総合もいけると思いました」という佐藤はランキングポイントでもトップの地位を盤石のものに。

今後、2位につけているディフェンディングチャンプ、橋本隼とのランキング争いに期待がかかる。

2016 文部科学大臣杯 JAPAN KART CUP with HDX Rd.4



スポーツカートからスタートし、順調にステップアップを重ねてきたH-OPENクラス佐藤那未がついに総合での優勝という快挙を達成。直前にドライセットに変更したのが勝因のひとつだという



▲ H-OPEN クラス表彰式。トップの佐藤那未は総合でも1位という素晴らしい成績



▲ WR250 表彰式。優勝のトマホークは戦略が完璧にハマりロスブラウンの気分を味わった



▲ MAX クラスで優勝したTEAM アルティア WITH MEは総合でも4位と健闘する



▲ H-ミッションではスタートでトラブった生方靖亜が後半、巻き返してクラス優勝を獲得



▲ WR250 クラス優勝のトマホーク



▲ H-ミッション優勝は生方靖亜



▲ YZ125 トップのエッフェガラ



▲ H-KT100 は小学生の千吉良怜が勝利



▲ スーパーカートでもお馴染みのYZ125クラス、優勝は常連チームのエッフェガラ57RSRだ



▲ H-KT100 クラスはバッテリー上がりでピットアウト時にタイムロスしたが千吉良怜がゲット